

2014年3月期 (2013年度) 決算説明会

2014年5月21日

代表取締役社長 小俣邦正

株式会社 **昭和真空**

2013年度 決算概況 (連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(百万円)	2012年度		2013年度			
	実績		実績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	5,691	—	6,106	—	414	7.3%
売上高	7,521	100.0%	4,868	100.0%	△2,652	△35.3%
営業利益	10	0.1%	△541	△11.1%	—	—
経常利益	47	0.6%	△447	△9.2%	—	—
当期純利益	69	0.9%	△524	△10.8%	—	—

2013年度の事業概況

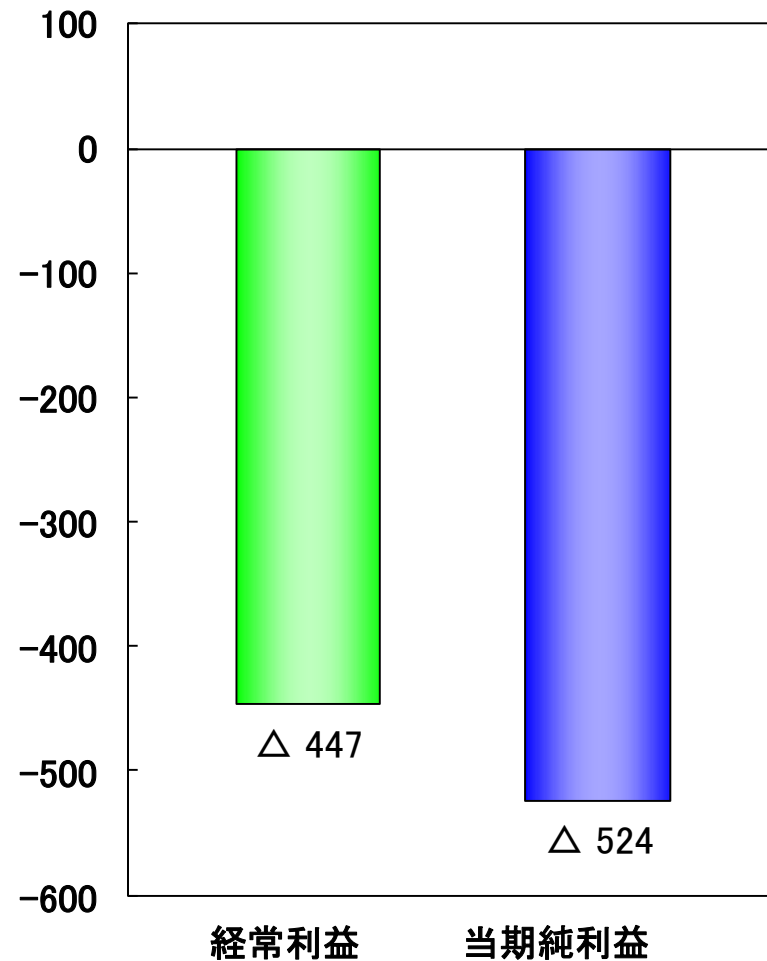
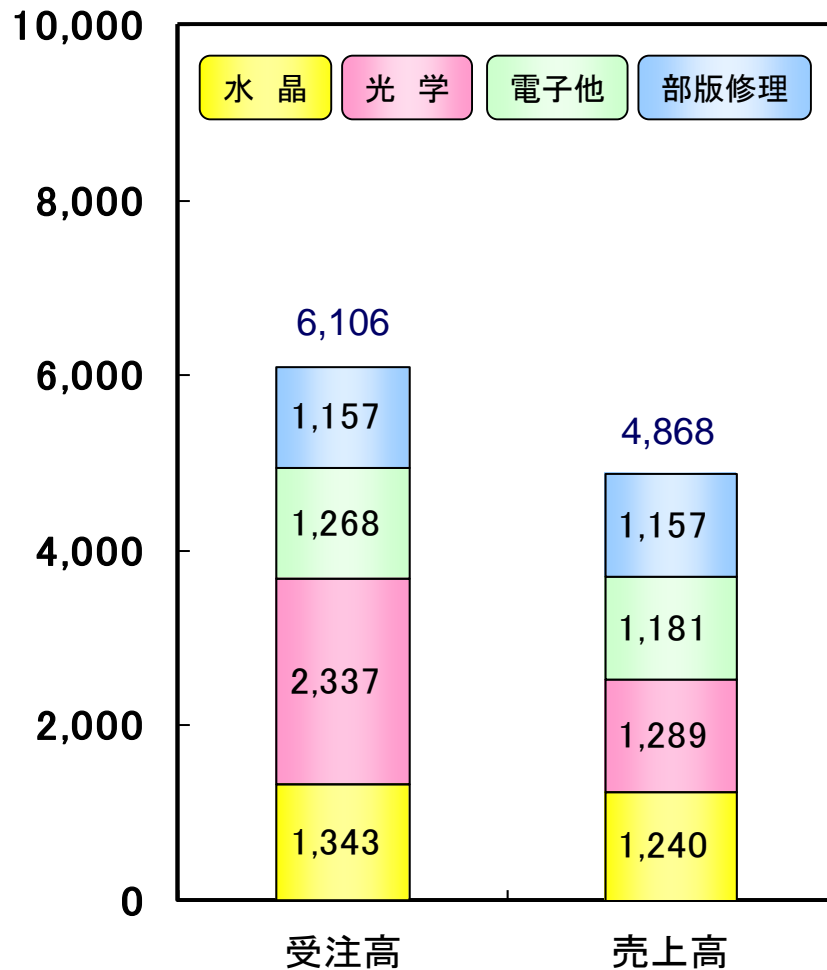
受注・売上・利益（連結）

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



（単位：百万円）

（単位：百万円）

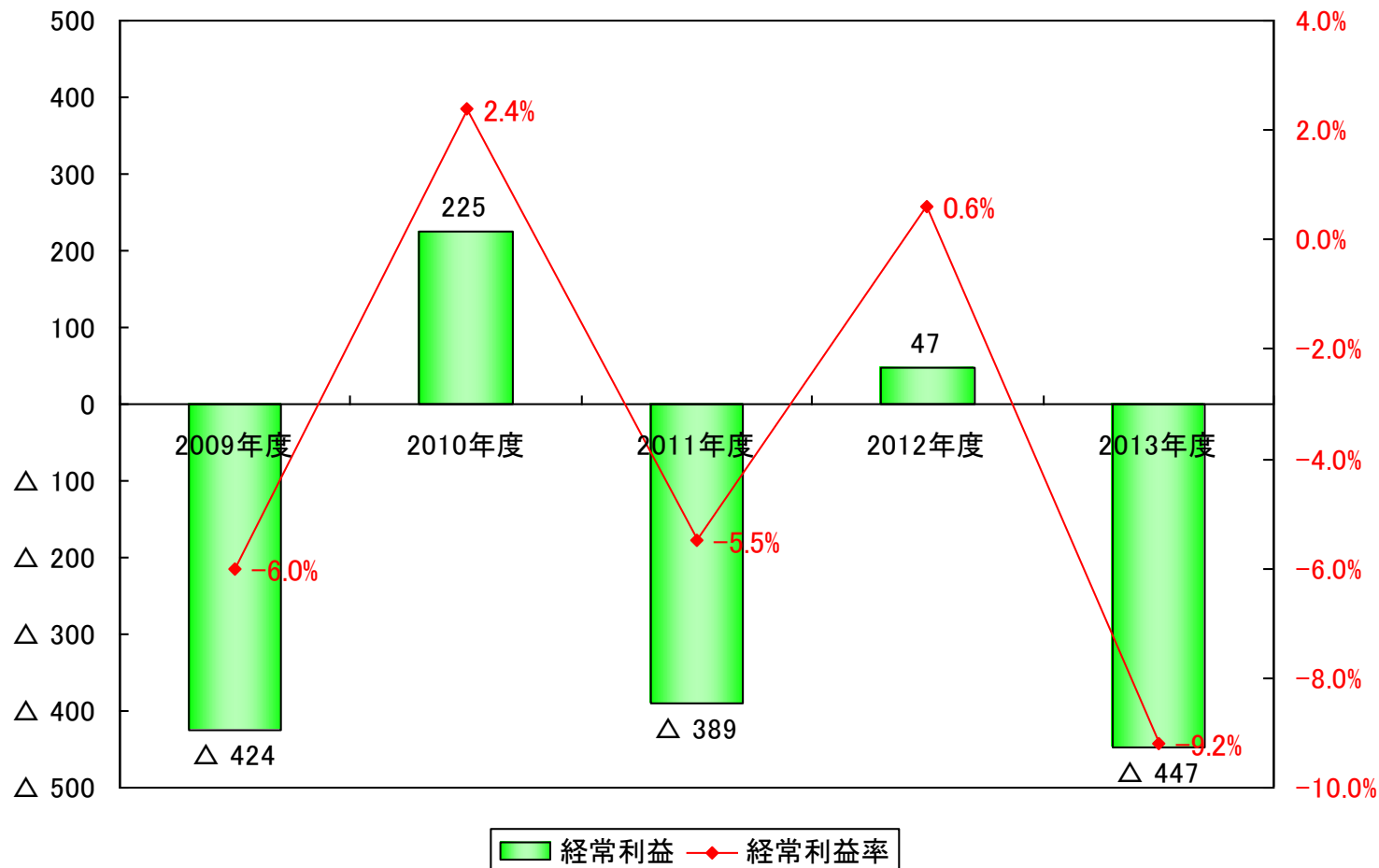


経常利益の推移 (直近5カ年、連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)



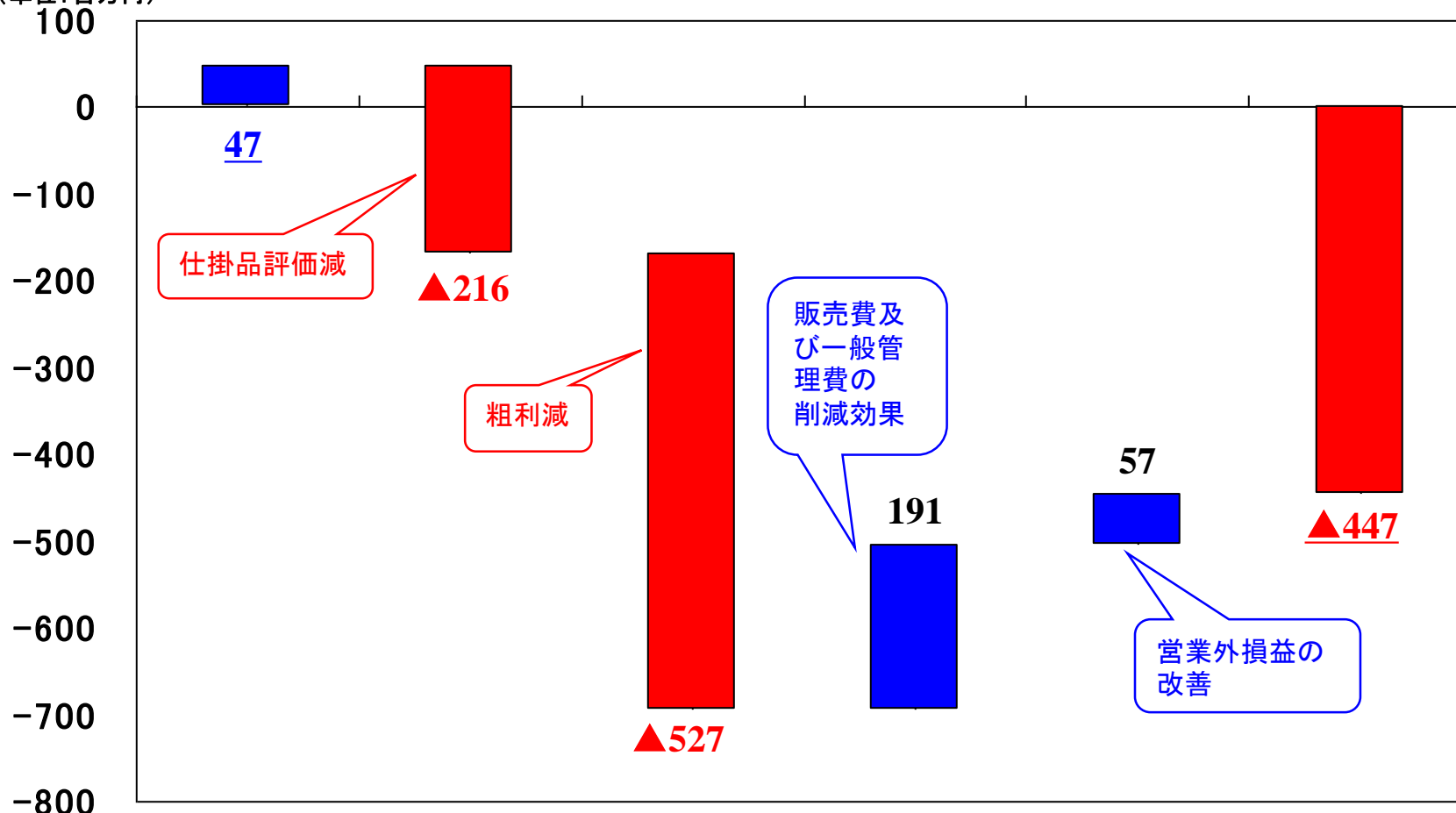
売上高	7,014	9,227	7,086	7,521	4,868
-----	-------	-------	-------	-------	-------

経常利益の増減要因分析 (連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位: 百万円)



2012年度

経常利益減少 495百万円

2013年度

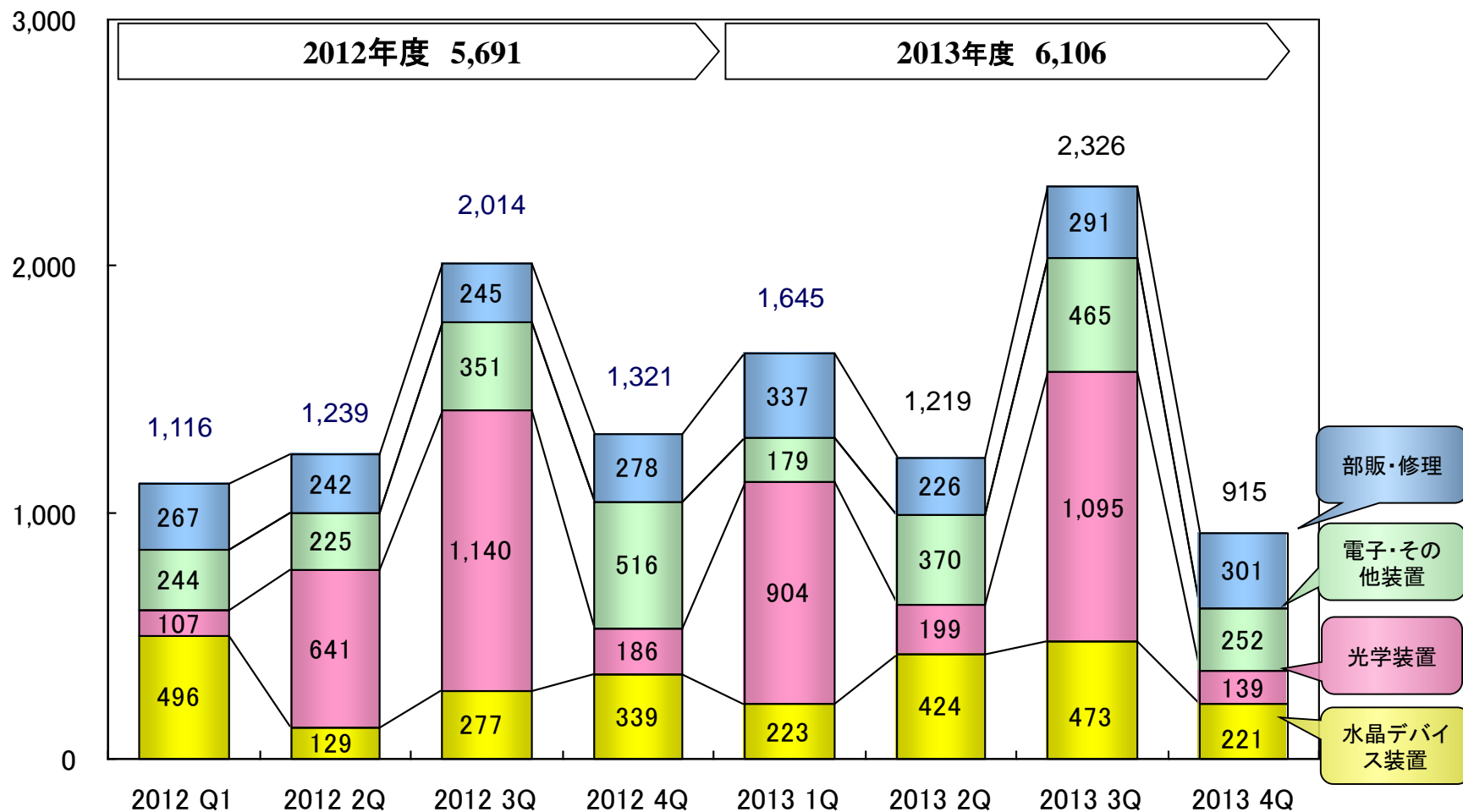
受注高品目別推移

(四半期、連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)

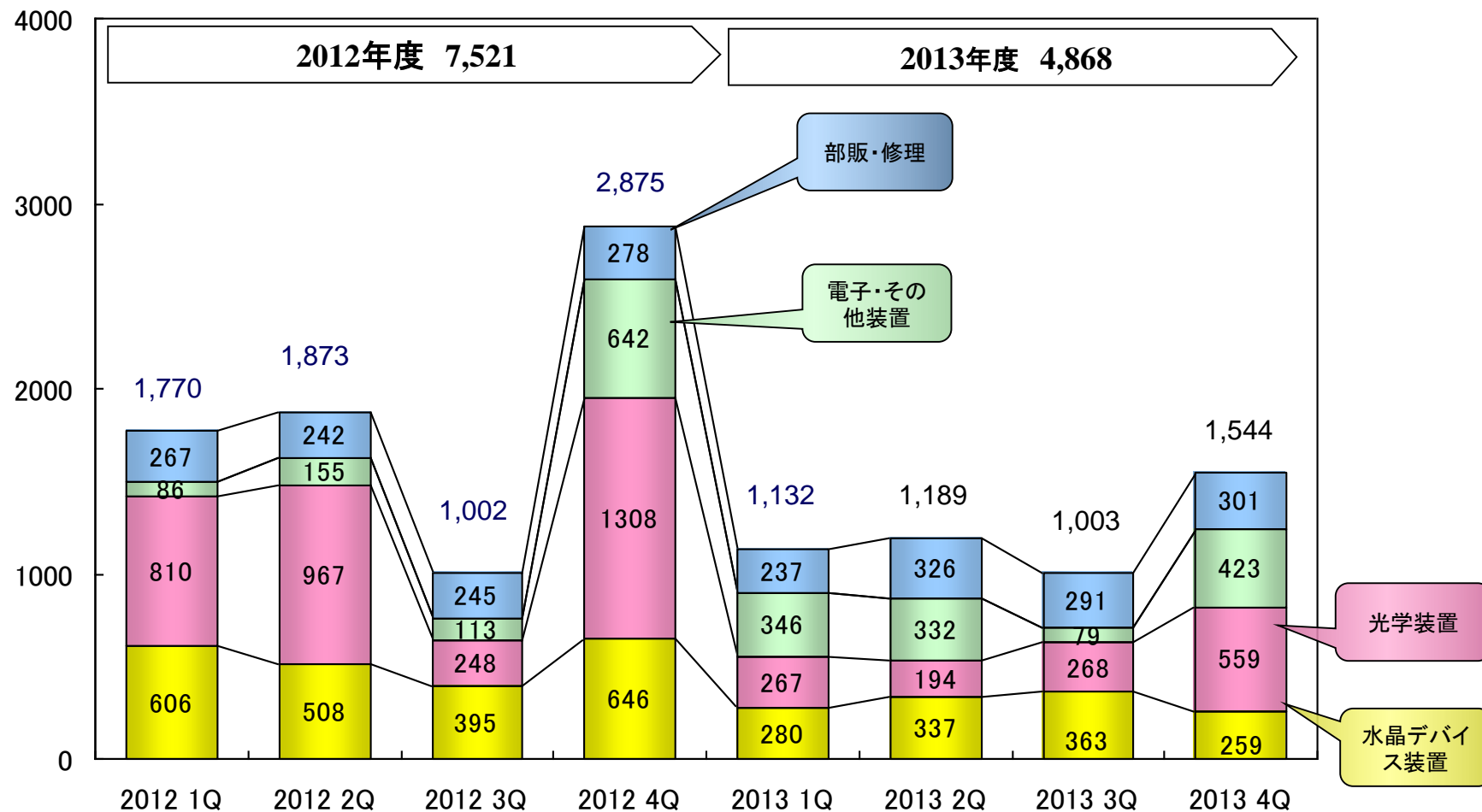


売上高品目別推移 (四半期、連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)

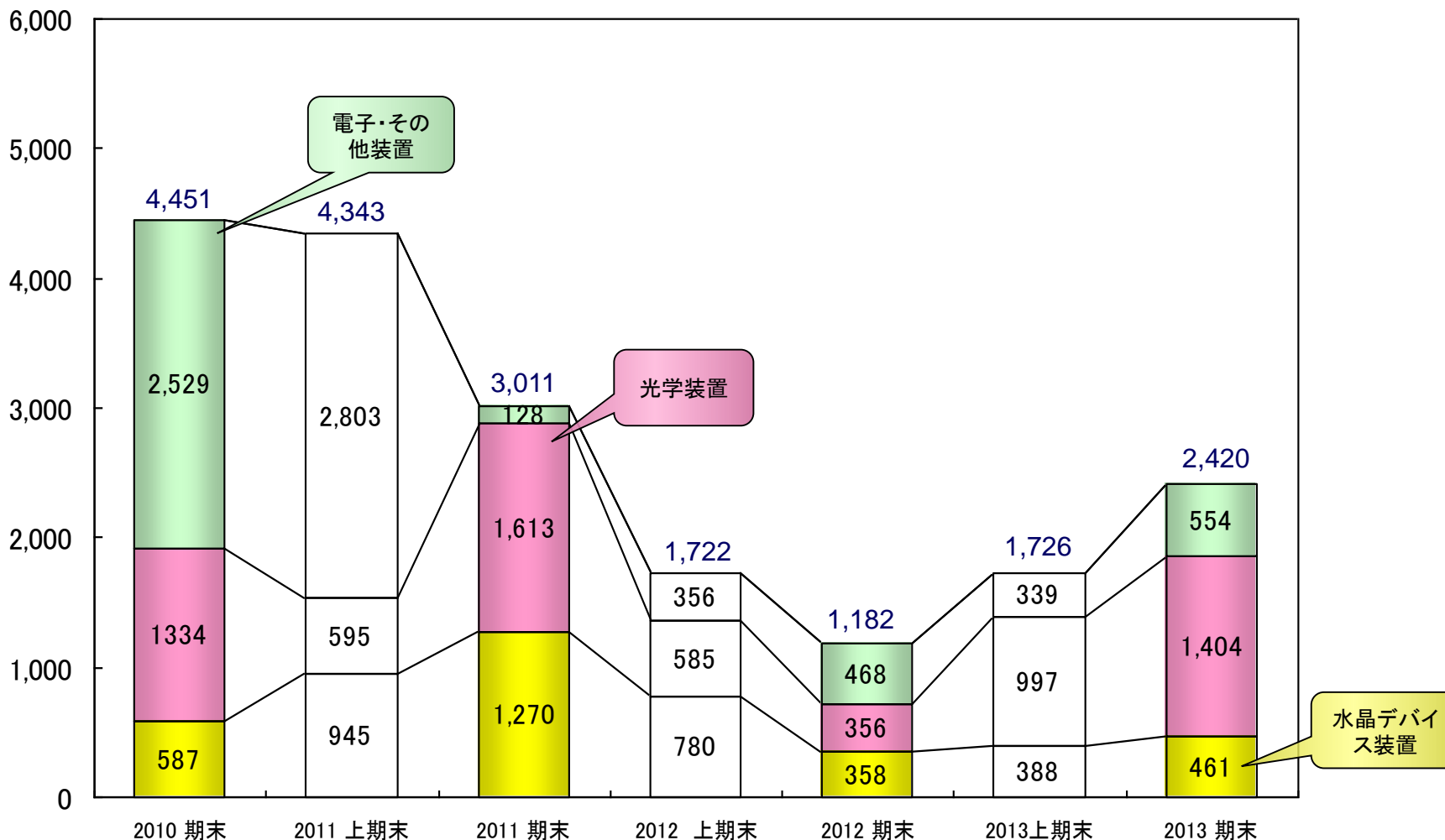


受注残品目別推移 (連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)



2011年度期末に太陽光発電関連の受注額を電子・その他装置より控除しております。

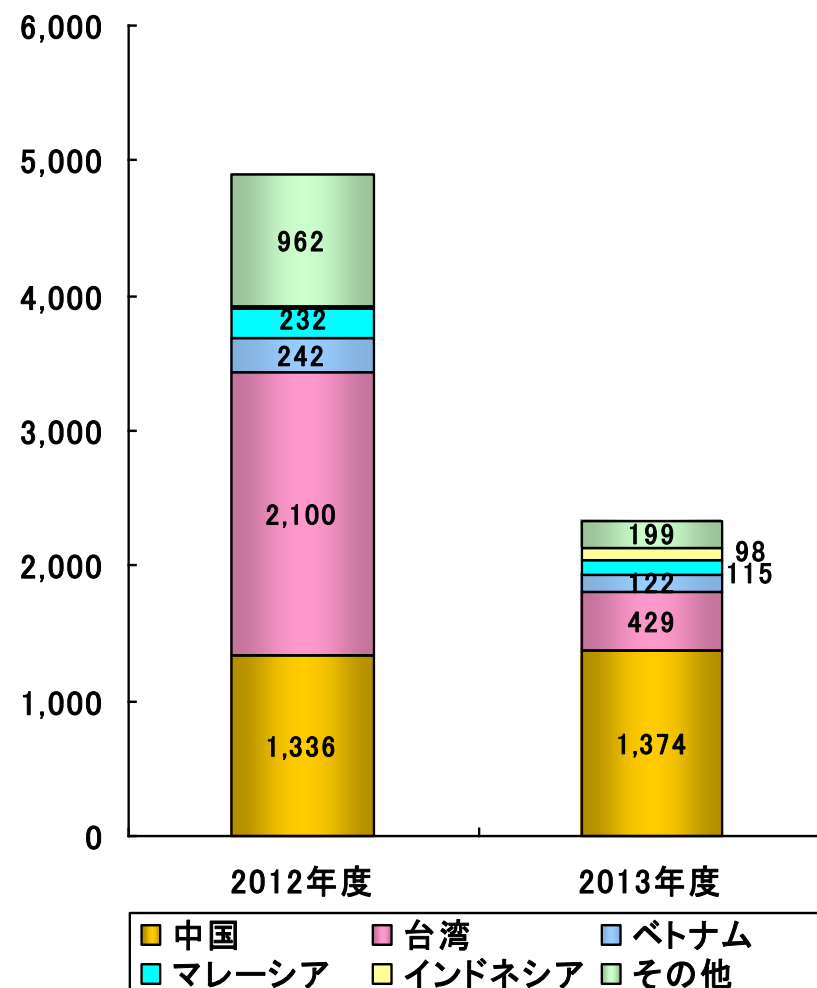
輸出先国別売上高推移

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位: 百万円)

	2012年度	2013年度
中国	1,336	1,374
台湾	2,100	429
ベトナム	242	122
マレーシア	232	115
インドネシア	18	98
その他	962	199
合計	4,893	2,340
輸出割合	65.1%	48.1%

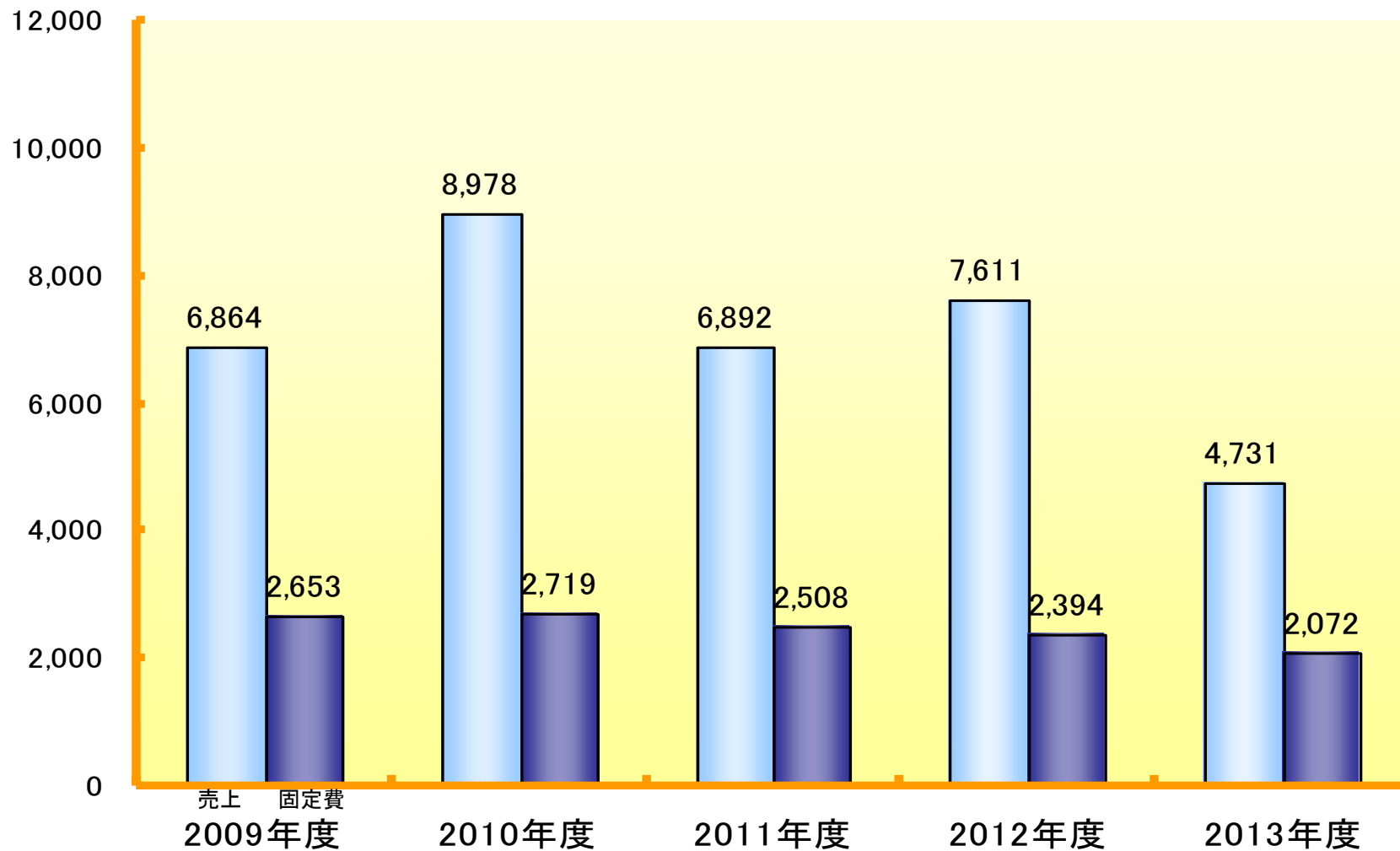


売上及び固定費の推移<単体>

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)



貸借対照表 (連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)

	2012年度	2013年度	増減額	主な増減要因
資産合計	9,921	8,709	▲1,212	
流動資産	6,779	5,563	▲1,215	現金預金375、受取手形及び売掛金▲2,016、仕掛品589、繰延税金資産▲78
固定資産	3,141	3,145	3	
負債合計	4,387	3,630	▲757	
流動負債	2,795	1,979	▲815	支払手形及び買掛金▲495、短期借入金▲143、未払費用▲131
固定負債	1,592	1,650	58	長期リース債務22、長期繰延税金負債19
純資産合計	5,534	5,078	▲455	

借入依存度 12.1%

自己資本比率 58.3%

固定比率 61.9%

キャッシュ・フロー計算書 (連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)	2012年度	2013年度	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	▲88	507	税金等調整前当期純損失 ▲417 減価償却費 112 仕入債務の減少額 ▲625 売上債権の減少額 2,092 たな卸資産の増加額 ▲423
投資活動によるキャッシュフロー	▲21	75	有形固定資産の取得による支出 ▲29 有形固定資産の売却による収入106
財務活動によるキャッシュフロー	▲195	▲228	短期借入金の純減額 ▲148 配当金の支払い ▲61
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	18	
現金及び現金同等物の増減額	▲298	373	
現金及び現金同等物の期首残高	1,241	942	
現金及び現金同等物の期末残高	942	1,316	

2013年度 まとめ

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



① 受注低迷により売上高大幅減少

② 光学デバイス向け大口受注、納品翌期へずれ込み

③ コンポーネツ初期不良による改善費用多額発生

④ 太陽光発電用装置の部品在庫 評価減計上



業績の見通し及び今後の戦略



- ① 米国★個人消費、住宅市場など上向く
- ② 欧州★ユーロ圏債務問題最悪期脱出
- ③ 中国★成長率鈍化・不動産バブル懸念
- ④ 日本★円安で自動車産業など上向く
- ⑤ スマートフォン 12億台を世界で生産
- ⑥ LED市場が拡大している

我々が注視していく成長市場は、⇒『スマートフォン』
成長する地域は、⇒『中国を中心としたアジア』
『アップル陣営とサムソングループをお得意様に』

水晶デバイス市場

生産数増も
販売単価下落傾向続く

世界No.1を維持する

光学部品市場

マイクロカメラ増産続く、
競合との価格競争激化

アジアで信頼される真空装置メーカーとなる

電子部品市場

日本メーカーの生産拠点の
海外移転が進む

新技術・新市場を開拓、小さい市場を集める

アフターマーケット

アジア市場が拡大

売上の拡大・利益を創る

2014年度業績計画 (連結)

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)

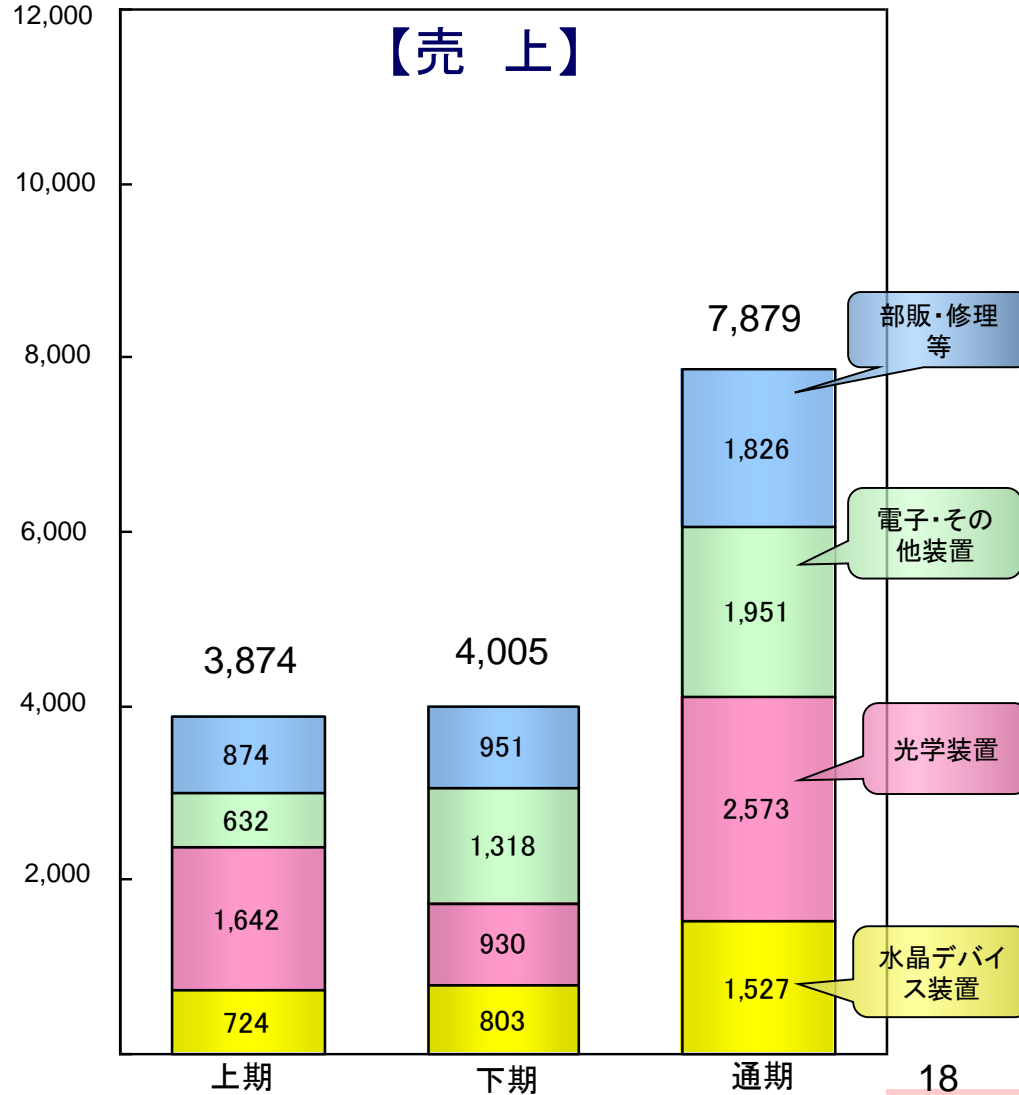
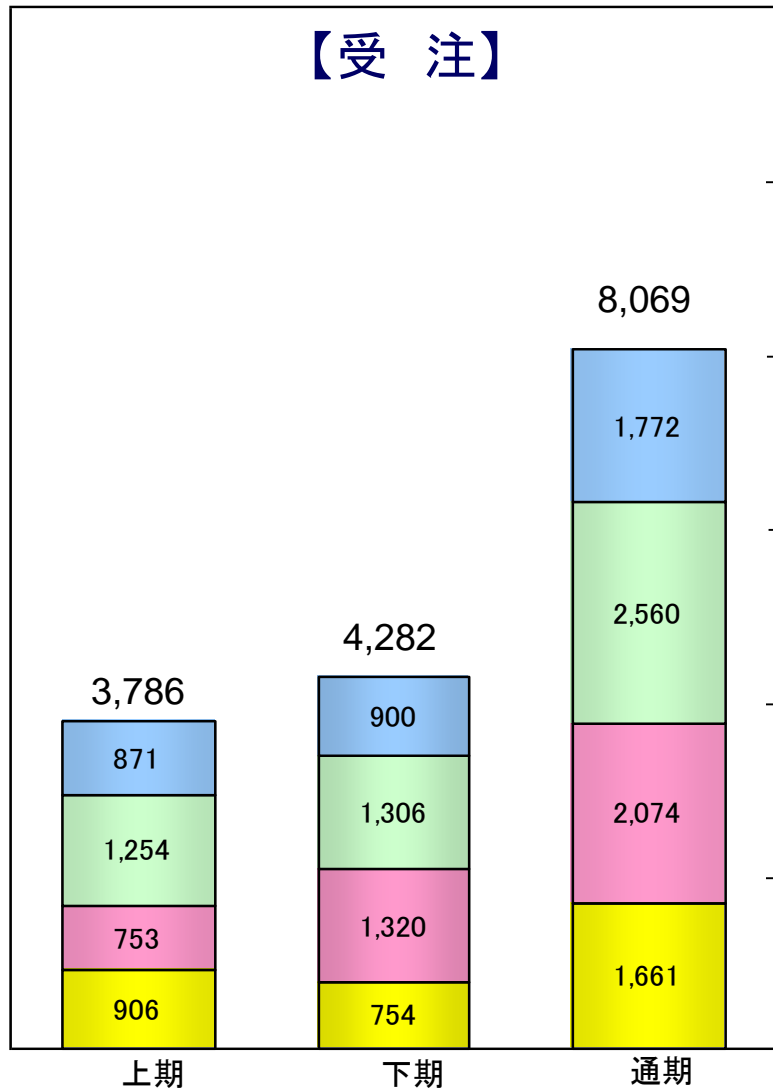
	2013年度実績			2014年度計画		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注高	2,864	3,241	6,106	3,786	4,282	8,069
売上高	2,321	2,547	4,868	3,874	4,005	7,879
営業利益	▲262	▲279	▲541	47	55	103
経常利益	▲230	▲217	▲447	40	59	100
当期純利益	▲333	▲190	▲524	29	50	79

2014年度 計画 受注・売上（連結）

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)

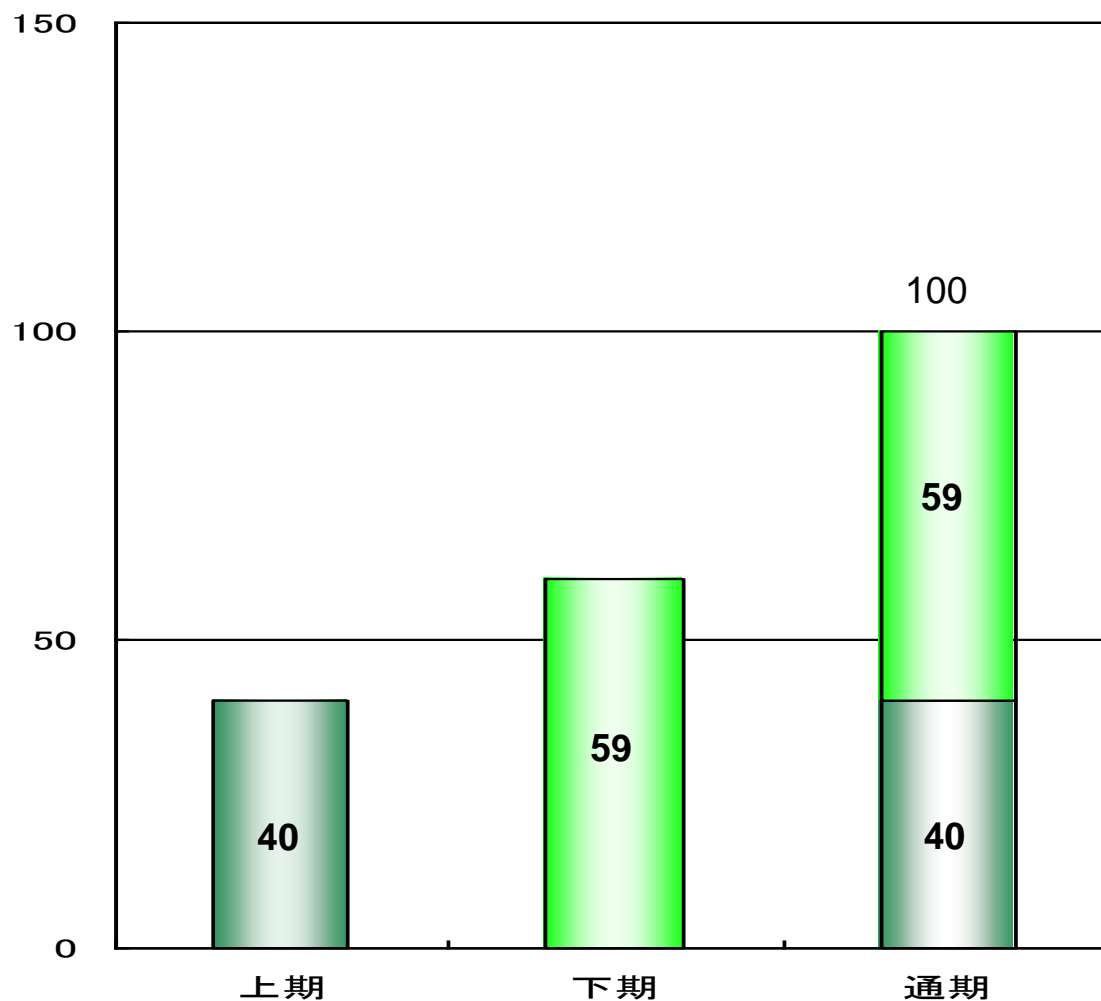


2014年度 計画 経常利益（連結）

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)



2014年度 重点実行項目

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



- ① 新製品の市場投入
- ② 既存技術応用分野への拡販
- ③ 中国のスマホ向部品メーカーへの拡販
- ④ コストダウンによる価格競争力の強化
- ⑤ さらなる製品品質向上への取り組み

設備投資計画など<単体>

『技術革新』
『グローバル化』
『スリム化』



(単位:百万円)

	2013年度	2014年度計画
設備投資額	123	91
研究開発費	262	352
減価償却費	96	79

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 **昭和真空**
SHOWA SHINKU CO., LTD.

